

KITABUKI

No.138
2026.1

RYUATBURY



10月29日、JA北いぶき女性部は女性部加入推進イベントに佐藤麻美氏をお招きして講演会を開催しました。 詳細は9ページをご覧ください。

代表理事組合長
代表理事専務
常務理事
常務理事
妹背牛地区代表理事
秩父別地区代表理事
沼田地区代表理事
監理監事
監事
勤表
外員監監常代理理理理理理
參參參員監監常代理理理理理理

外職員 堀岡寺崎岡藤崎本川垣田田垣谷田裏橋山野本村易田
一 直惠順英 一幸 健 和健成昌貴 一真秀 洋
同 美子子人剛郎雄誠一勝仁健広二明利志也俊昭徹一



ホームページ <https://www.ja-kitaibuki.or.jp/>

JA北いぶき

検索



ホームページ、
インスタグラムでも
情報を発信しています
ぜひご覗ください！



年頭のご挨拶

北いぶき農業協同組合
代表理事組合長 黒田洋一

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、ご家族おそろいで輝かしい新年を迎えたこととお喜び申し上げます。

世界では未だ紛争が終わらず、また米中の貿易対立などの暗澹とした空気の一方、個人的にはファイターズの躍進とワールドシリーズのドジャース三人の日本人の活躍に元気をもった令和七年でありました。

令和七年十月、日本初の女性首相による高市政権が発足しました。

農水大臣には鈴木憲和氏が就任し「米の需要に応じた生産」と米政策への方向性を示されました。適正な価格の在り方など消費者と生産者の相互理解をどのように図っていくのか、中長期的に安定した政策を期待しています。

令和七年度高いぶき農協の農畜産物販売支払高は二〇〇億円を超えました。基幹としている水稻の作柄は前年対比では減収となつたものの、高米価により昨年を大き

く上回る販売高となりました。

稲のみならず、すべての作物において夏場の高温による影響を強く受けながらも、生産者皆さんの努力により、一定程度収穫できたものと思います。

販売額で二年前の倍以上になる大きな成果となつたことは、過去から長年積み上げてきた地域農業への見返りでもあると感じます。その意味で過去からのすべての生産者皆さんのご努力に深く敬意と感謝を申し上げる次第であります。

令和八年度の主食米の生産の目標については北海道米安定期供給に向け七年度実績と同程度の面積を計画しています。米の主産地として水田面積の維持と良質米を多く生産していただき、さらに農協への一元集荷を改めてお願ひするところです。一俵でも多く集荷することで販売の底上げにつながります。

また畑作、花卉・蔬菜等の作物においても継続して生産していただ

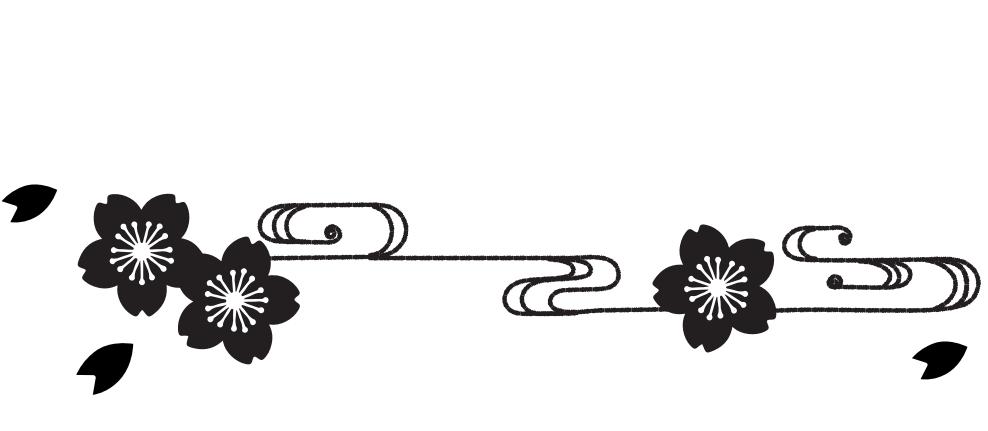
くようお願い申し上げます。厳しい気象環境下ではありますが中長期的農家経営安定を考えたとき必ず寄与するものと考えます。農家経済に余裕があるときこそ営農技術を探求できる良い機会ともいえます。

農協運営における近年の物価上昇、職員の給与引き上げに伴い今年度令和八年度より営農賦課金・農畜産物手数料の引き上げとクミカン手数料を導入させていただきます。年末の農事組合別懇談会において組合員皆さんにおいて一定のご理解をいただいたと思います。サービス向上に向け一層の努力をさせていただきます。

昨年四月より新たなる役員体制で運営を担わせていただいています。

特に女性参与の登用により幅広い視点で事業運営を進めていけねばと思います。国が進める女性活躍、さらには日本初の女性首相の誕生ということもあります。将来的には周囲から押し付けられるものではなく自ずと自然に男女ともに活躍できる地域社会、職場風土になればと願っています。

環境の変化が激しく課題多き昨今であります。今年度も組合員皆様のご支援ご協力をいただきながら、役職員一同努力させていただ





年頭のご挨拶

北海道農業協同組合中央会
代表理事長 樽 井 功

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられますこと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、春先から天候に恵まれ、各作物の生育は全般的に平年よりも順調に推移しておりましたが、道内の広範囲において被害が発生した夏場の記録的な豪雨や干ばつにより各作物等の収量および品質に影響が出た一年となりました。

近年、気候変動等による自然災害の多発や栽培適地の変化、円安基調の継続や国際紛争等に起因する資材価格の高止まりが農業経営に大きな影響を与えており、農業・農村を取り巻く環境は大きな変革期を迎えております。



この様な状況の中、昨年七月に実施された参議院議員選挙において、組合員・JA役職員をはじめとする多くの皆様のご支援をいただき、全国農業者農政運動組織連盟が推薦した東野ひでき氏を国政に送り出すことができました。

この一歩を重要な礎とし、改正基本法により基本理念として位置付けられた、国民一人一人の食料安全保障の確保や環境と調和のとれた食料システムの実現、持続可能な北海道農業の確立に向けて、組合員・JAの声を国政に届ける活動を継続していきます。

J A グループ北海道は、今後とも組合員との対話活動を一層強化し、協同組合の理念と精神を組織結集力につなげ、組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整え、「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」の実現に全力で取り組んでまいります。

結びになりますが、本年は午年です。午年はエネルギーと行動力





年頭のご挨拶

空知農業改良普及センター
北空知支所 支所長 石村 博之

新年あけましておめでとうございます。

昨年も、日々の営農の中で多くのご尽力をいただきました皆さまに、心より感謝申し上げます。気象の変動が大きく、対応に苦慮する場面も多い一年でしたが、組合員の皆さまがそれぞれのほ場で工夫を凝らしながら取り組まれた結果として、令和七年産を無事に収穫期へとつなげることができました。本当に疲れさまでした。

以下に、昨年の作柄を振り返り、今後の課題と取り組みの方向についてご報告いたします。

昨年の気象経過は、春先から気温が高く、四～五月は日照不足、六月以降は高温・多照と、変化の大きい一年でした。七月～八月は少雨が続き、生理障害の発生や生育の遅れが見られましたが、九月には適度な降雨があり、作物によつては肥大が進むなど好影響もありました。

水稻は、育苗期に低温寡照の影響があつたものの、移植・直播と

もに生育はおおむね順調に進みました。六月以降の高温で生育は促進され、幼穂形成期から登熟までスムーズに推移しました。一部圃場では倒伏や茶米、斑点米が見られたものの、収穫は平年より早く終了し、品質・収量ともに安定した結果となりました。

秋まき小麦は、起生期がやや遅れたものの、春以降の天候回復により順調に生育しました。病害虫の発生は局所的で、収穫は平年より早まり、品質も良好に確保されました。大豆は、は種・出芽は平年並で、五月の少雨による遅れが一部ありました。七月以降の高温で着莢数は平年を上回りました。病害の発生も見られましたが、全体として収量性は確保されました。そばは、令和七年産で最も厳しい作柄となりました。七月以降の高温で受粉障害が発生し、開花初期の結実が十分に確保できませんでした。九月の降雨による収穫

少傾向となりました。気象変動の影響が最も大きく表れた作物であり、今後の対策強化が必要です。「スターチス・シヌアーツ」では、四月の日照不足で初期生育が緩慢となつたものの、五月以降は平年並まで回復しました。六～七月の高温乾燥で短茎傾向が見られ、灰色かび病や褐斑病、ハダニ類の発生が増えました。九月以降は花色の向上が見られた一方、草丈不足が課題として残りました。

ブロッコリーは、春まきで高温による花蕾障害が発生し、晚春までは高温少雨で生育遅れが見られましたが、八月以降の降雨で回復しました。秋収穫の作型は概ね順調でしたが、チヨウ目害虫やアブラムシ類の早期・多発傾向が課題となりました。

昨年の作柄を振り返ると、気象変動リスクへの対応力強化が共通の課題として浮き彫りになりました。高温・少雨が生育初期から収穫期まで影響し、収量と品質の安定確保には、品種や作型の分散、圃場の透排水性の改善、灌水設備や水管理の強化、環境制御技術の活用、病害虫防除の高度化、さらにはデータ活用による精密農業の推進が不可欠です。普及センター

としても、現場に寄り添った技術支援を引き続き充実させてまいります。

本年も、地域農業が持続的に発展できるよう、関係機関との連携を深めながら全力で取り組んでまいります。組合員の皆さまのご健勝とご多幸を心より祈念し、新年のご挨拶といたします。



年頭のご挨拶

北いぶき農業協同組合

青年部 部長

下保裕樹



新年あけましておめでとうござります。日頃より組合員の皆様には我々青年部に格段のご理解とご協力賜り、心よりお礼申し上げます。また三町行政、各関係機関、各関係団体の皆様におかれましても、多大なるご指導、ご協力を頂いております事を重ねてお礼申し上げます。

さて令和七年の水稻作柄を振り返つて参りますと、春先の降雨により播種作業は遅れたものの生育は比較的順調に推移しました。しかし夏場の高温傾向により稻刈りが大幅に早まった為、登熟期間が短縮され青未熟粒の増加や天候の影響も重なり着色などの品質の低下が目立ち、収量は平年をわずかに下回る結果となりました。

また、農業情勢に目を向けては、コメの概算金は大幅に上昇し我々生産者にとっては喜ばしい年となりましたが、依然として資材・燃油価格の高止まりに加え、米国との関税強化を背景とした為替変動が大きく、農機や部材の値上げが

続いています。さらに政権交代によって政策の見直しや、備蓄米の放出の影響など米価の先行きは不透明であり、今後の収入面や経営の見通しが立てづらい状況が続いている状況です。

「学習会」においては、三月にN O S A I 講座を行って頂き、収入保険や園芸資材などの説明を行つて頂き、意見交換や保険の制度を再確認できた貴重な時間となりました。六月「青年部の日」を開催し、三支部盟友と農協職員混合チームでミニバレーを行い、交流を深める貴重な時間となりました。十一月「視察研修」では、(株) I S E K I J A P A N 北海道カンパニーにて最新のスマート農業の商品展開や、トラクターや作業機の紹介をして頂きました。北興化学工業株式会社では、水稻用除草剤の新商品「楽粒」の商品紹介をメインに除草剤について説明を行つて頂きました。令和七年度は、気候変動の影響で春先からの高温・少雨により土壤が乾燥し初期除草が例

年以上に難しい年となつた事もあり、来年に向けた除草対策に向けて改めて考える研修となりました。その他、各支部夏の事業として秩父別支部では「ちつぶべつ夏祭り」での出店、妹背牛支部では「豊年祈願焼肉まつり」の開催、沼田支部では「沼田町夜高あんどう祭り」へ参加し町を盛り上げました。

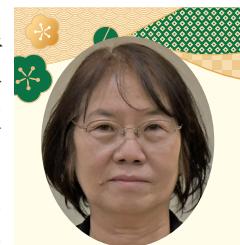
他にも地域や消費者の方々へのPR活動として、ファームレター やスノーメッセージの製作を行い、我々の農業に対する想い、安心・安全への取り組み、さらには食の大切さを消費者に伝えるために活動して参りました。

物価高や気候変動による作物への影響、農業政策の見直しなど農業を取り巻く情勢は大きな転換期にさしかかっています。このような目まぐるしく変化する農業情勢の中でも我々青年部は、北いぶきを支える基幹産業の担い手として、青年部活動を通じて仲間を作り、盟友同士の結束を図り、ますます精力的に活動していきたいと考えています。

最後に各関係機関、関係団体の皆様のより一層の御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げますと共に、組合員皆様、青年部盟

友皆様のますますの御健勝・御多幸を祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせて頂きます。





年頭のご挨拶

北いぶき農業協同組合
女性部 部長

山本 清美



新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春を皆様とともに穏やかに迎えることが出来ましたこと心からお慶び申し上げます。

日頃より、JA女性部活動にご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、春先の天候不順はありましたが、その後の作業は順調に進んだと思います。七、八月の高温で水稻の生育は早まり、例年より早い収穫となりました。一昨年の令和の米騒動が昨年も収まらず、備蓄米の放出や「古古古米」という言葉が新語・流行語に選ばれるなど一年を通じお米の話題が多く報道されていました。米価は、二年連続で上昇しましたが、私達生産者にとっても、とまどいを隠せない価格になつたように思います。

女性部活動については、年二回の三支部合同の部員研修を行いました。夏季は一昨年に続き好評だったモルックで盛り上がり、そ

の後の懇親会では焼肉とビンゴで交流を深めました。冬季は茶話会でグループに分かれ、それぞれ女性部についてのテーマを決め、今後の女性部活動でやつてみたい事や、部員を増やすためにどうしたらよいかなど多くのご意見をいただきました。

また、三年に一度の女性部イベントでは、フリーアナウンサーの佐藤麻美さんを迎え、「自分らしく笑顔で生きるために～ちゃんと食べてちゃんと寝る～」というテーマで老いにくい食生活や睡眠の質を高める行動など講演をしていただきました。佐藤さんの明るさにパワーをもらつて嬉しかった反面、女性部加入推進事業として開催している行事でしたが、女性部員以外の参加は少なく残念でした。

十一月のJA全道女性大会・北海道家の光大会は役員九名で参加して参りました。担当地区四名の家の光記事体験発表と審査のあと、「日本農業の今後の展望につ

いて～北海道農業への期待～」というテーマで東京大学の鈴木宣弘氏の講演がありました。鈴木氏はワイドショーなどにも出演されている方で、ユーモアを交えてお話をくださいました。最後に北海道は日本の食料地、それを支えているのは農業女性のあなた達ですとエールをもらいました。

この一年、女性部活動を通じて他のJAの方々との交流を持つことができ出来たこと、貴重な体験をさせていただいたこと、この場を借りて感謝申し上げます。今後も、地域や仲間とのつながりを大切に、楽しく活動を続けていきたいと思っております。これからも部員の皆様、各関係機関の方々のよ里一層のご理解とご協力、またご指導のほどよろしくお願ひいたします。

本年も皆様が健康で幸多く過ごされますよう、ご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせて頂きます。



第四回農事組合長会議

十一月二十七日、沼田町ほろしん温泉ほたる館にて、令和七年度第四回目となる農事組合長会議を開催しました。

黒田組合長、菅原沼田町副町長、石村普及センター北空知支所長の挨拶では令和七年の作柄に触れ、水稻をはじめとするJA管内での農作物のタンパク傾向やカタムシの被害状況などを説明頂きました。

その後JAより、米穀農産事業部からの報告事項を中心に農産物の販売状況、中間米・肩米の精算、米集荷奨励対策及び令和八年営農計画書に係る主食用米販売収入計画等について説明しました。



意見を述べる齊藤 隆彦さん(秩父別地区・穂栄)



沼田地区



秩父別地区



妹背牛地区

農事別組合員懇談会、女性部・女性農業者との懇談会

十二月三日から五日の日程で、各地区農事組合別組合員懇談会・女性部・女性農業者との懇談会を開催。

開催にあたり、黒田組合長をはじめ常勤役員から、令和七年度の集荷状況のほか、令和六年産・七年産米の追加払いなど、現況報告の後に、JAからは「令和七年産農畜産物販売支払高見込み」「うち米をめぐる情勢」「賦課金・農畜産物手数料の見直し」「クミカン維持管理手数料の導入」など二四項目にわたり説明させて頂きました。

出席された組合員からは、昨今の温暖化が農産物に与える影響に対する取り組みなどを関係機関に働きかけて頂きたいなど、多くの貴重なご意見や質問、ご要望を頂きました。

頂いたご意見を踏まえ、今後のJA運営に活かせるよう、役職員一同努めてまいります。



秩父別地区・稻豊



妹背牛地区・妹背牛北



沼田地区・沼田東部西



十月二十九日、JA北いぶき女性部（山本清美部長）は本所にて三年に一度開催している女性部加入推進イベントを実施しました。

このイベントは女性部へ加入されている方へのPRと女性部員の皆様へ女性部の魅力を再確認していくただくことを目的とし、今回で五回目の開催となりました。今回のイベントには、HTB



女性部・山本部長の挨拶に始まり、営農推進事業部より女性部の目的や活動内容について説明がありました。

その後佐藤氏にご登場いただき、経験やご自身についてお話し下さいました。

年齢を若く保つ方法やバランス良く食べるのに必要な「ま・ご・わ・や・さ・し・い」、そして佐藤氏流の美肌ジユースのレシピを伝授していただきました。

また睡眠の質を高めるためには、ベッドを睡眠のための場所として眠る以外はしないこと・眠くないときは入らないこと・起床時間を探すこと・本睡眠前に眠らないことの四か条を教えていただきました。その他にも休日の寝だめは三時間以内とするなど

放送の番組「おにぎりあたためですか」にて一六年間MCを担当されたフリーアナウンサーの佐藤麻美氏をお招きしました。当日は五四名の女性部員・女性部未加入の方が参加され「自分らしく笑顔で生きるために～ちゃんと食べてちゃんと寝る～」と題し、佐藤氏に講演していただきました。

日本人女性の平均寿命は八七歳と長寿を誇るもの、健康寿命は七五歳とその差はおよそ一二歳差もあり、元気で健康に過ごせるよう健康寿命を延ばすことを課題として提示されました。そこから食生活にふれて食べる順番の大切さや果物・酵素の力、新鮮な旬の野菜など様々な種類を食べることで豊富な栄養素を体内に摂取することで、肌・骨・筋肉類に上手にエネルギーが循環していくのだと教えていただきました。他にも腸内年齢を若く保つ方法やバランス良く食べるのに必要な「ま・ご・わ・や・さ・し・い」、そして佐藤氏

のから講演が開始されました。アクティビティスリーP指導士の資格で取得した知識から、「老いにくい食生活」と「睡眠の質を高める行動」についてお話ししていただきました。

日本人女性の平均寿命は八七歳と長寿を誇るもの、健康寿命は七五歳とその差はおよそ一二歳差もあり、元気で健康に過ごせるよう健康寿命を延ばすことを課題として提示されました。そこから食生活にふれて食べる順番の大切さや果物・酵素の力、新鮮な旬の野菜など様々な種類を食べることで豊富な栄養素を体内に摂取することで、肌・骨・筋肉類に上手にエネルギーが循環していくのだと教えていただきました。他にも腸内年齢を若く保つ方法やバランス良く食べるのに必要な「ま・ご・わ・や・さ・し・い」、そして佐藤氏

のから講演が開始されました。アクティビティスリーP指導士の資格で取得した知識から、「老いにくい食生活」と「睡眠の質を高める行動」についてお話ししていただきました。

日本人女性の平均寿命は八七歳と長寿を誇るもの、健康寿命は七五歳とその差はおよそ一二歳差もあり、元気で健康に過ごせるよう健康寿命を延ばすことを課題として提示されました。そこから食生活にふれて食べる順番の大切さや果物・酵素の力、新鮮な旬の野菜など様々な種類を食べることで豊富な栄養素を体内に摂取することで、肌・骨・筋肉類に上手にエネルギーが循環していくのだと教えていただきました。他にも腸内年齢を若く保つ方法やバランス良く食べるのに必要な「ま・ご・わ・や・さ・し・い」、そして佐藤氏

女性部加入推進イベント





丹波たぶち農場での研修の様子

北いぶき農事組合長会

視察研修

北いぶき農事組合長会（齊藤隆彦会長）十一月十七日から二十日までの四日間、関西方面において視察研修を行いました。

彦会長）十一月十七日から二十日までの四日間、関西方面において視察研修を行いました。

視察研修には、各地区から六名の農事組合長が参加し、視察先として農業法人二ヶ所のうち、最初に訪れた「株式会社丹波たぶち農場」（兵庫県丹波篠山市）は農地面積八五ヘクタールのうち、主食用米六五ヘクタールの他、加工米五ヘクタール、黒大豆一〇ヘクタール、イチゴ一四アール等を作付けしています。丹波篠山市は周囲を山脈に囲われ、平均気温が低く、昼と夜の寒暖差が非常に大きい独特的の風土のもと、一五年間以上前から自家製堆肥を田畑に入れ続けた結果、大地の活力が上がり、風土をいかした濃厚な味わいを持つ農産物の栽培ができるようになりましたと説明を受けました。組織の構成員は理事六名、スタッフ一三名、働きやすい環境を重視しており、離職するスタッフは少ないとのことでした。栽培技術の専門性を重視しており、米栽培のスタッフと、いちご栽培のスタッフ

は分けて担当しています。

二ヶ所目の視察先は「春果鮮菜夜明けのポポー合同会社」（京都府綾部市）。寒暖差の激しい気候と冬の降雪により、病害虫の越冬を防ぎ、農薬や化学肥料を最小限に抑えた栽培を可能にしています。京都府に古くから伝わる伝統野菜である京野菜として、万願寺とうがらしをメインとして、年間を通して、野菜栽培に取り組んでおります。京野菜は京都府でのみ生産されており、希少価値が高いとの説明を受けました。しかしながら、中山間地であるため、イノシシ被害に苦慮しているとのことでした。

視察先二ヶ所ともに北海道とは異なる農業体系について、深く学ぶ機会となりました。



参与研修

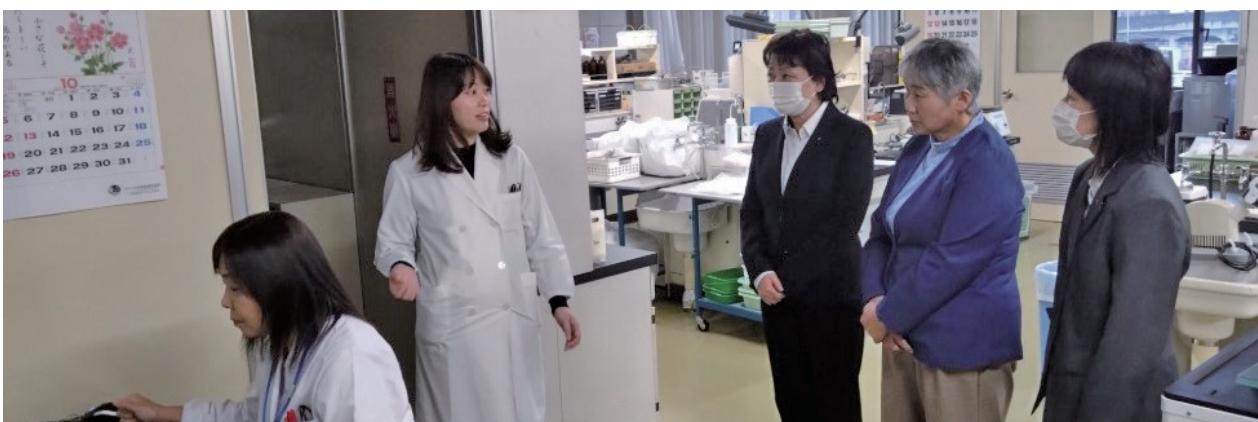
十月二十八日から二十九日にかけて、参与視察研修を行いました。参加者は寺岡順子参与、岡崎恵子参与、堀直美参与の三名。

視察先の札幌市のホクレン農業総合研究所ではスマート農業の取り組みとして、生産性向上に向けた技術支援、現場に即したスマート農業の推進、技術力向上の支援・人材育成。

営農に役立つ情報の収集と発信。労働力不足の課題への対応として、道外を主体に企業とパートナー契約を結び、外国人の人材派遣体制等の構築について、説明を受けました。

農業総合研究所の概要として、札幌市・長沼町・訓子府町のそれぞれの研究所及び農場における取組の概要や北海道米の品質評価等の解説がありました。

食品分析センターの概要として、実際に安全性に係る検査を行っている食品検査設備・分析機器の様子を視察させて頂きました。

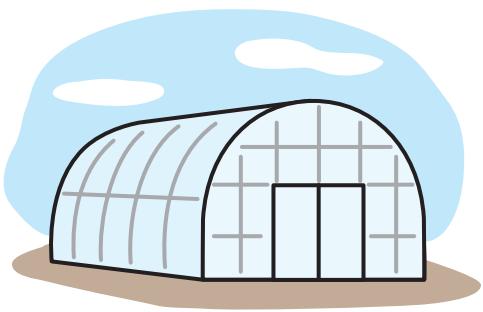


ミニトマトハウス見学の様子

北いぶき花卉蔬菜協議会 道内視察研修

十一月五日から六日にかけ、北いぶき花卉蔬菜振興協議会（広田和行会長）は、道内研修を実施し、一名が参加しました。

J A木野特産品センターを訪問し、温泉熱を利用したミニトマトのハウスを見学しました。また、収穫されたミニトマトは地元の地域に販売されています。





サンプルを採取する JA 職員



令和七年産 大豆の集荷を行いました

十月二十八日より、沼田町農産物調製施設にて令和七年産スズマルR大豆の集荷を開始しました。収穫については、早い圃場で十月上旬に刈り取りが始まっており、米と同様に例年よりやや早まつた様子。調製については十一月末に終了致しました。

品質については、収穫が遅れてしまった大豆は雨による影響でしわや割れが見られるものが多かつたものの、適期に収穫されたものは被害粒も見られずに見栄えが良く、収量も平年以上となりました。

たもの、適期に収穫されたものは被害粒も見られずに見栄えが良く、収量も平年以上となりました。

J A 北いぶきは九月十三日から三日間、秩父別町内で開かれた「二〇二五北海道カブラリーリン」において、職員が稻刈り・ブロッコリーの収穫体験の支援、お米を支援提供したことについて、同連盟より感謝状が授与されました。

ボーイスカウトは野外活動を中心とした様々な体験活動を通じて、青少年の自主性、協調性、社会性などを育み、心身ともに健全な人材を育成することを目的とする世界的な教育運動です。

感謝状授与にあたり三国理事長から「当活動に深い理解を示され、収穫体験の学びとご指導を賜りました。深く感謝の意を表します」と語られました。



ボーイスカウト感謝状授与



稻刈り体験の様子

糸

～THE YOUTH FACE～



自分が子供の頃、農業について朝から晩まで休みもほとんどなく、就農について考へることはありませんでした。就農する転機は両親が今後を見据えて年齢的に離農を考へて本当に跡を継ぐ気持ちはないのかという打診があつたことです。当時自分は、会社員でこのまま続けていくことに生きがいが感じられなかつたことや大学時代に専攻した経済経営の知識も幾分か生きるのでないか等様々考へて両親のもとに里帰り就農しました。

農業を行つていいくまでの想い

農業は一人だけで成り立つものではなく家族はもちろん手伝ってくれる方々、同じ農家さん、

農協、普及所、広域連、各メーカーや消費者等など沢山の繋がりができる

いると思うので、今後人脈を大事にし、楽しむこ

職業として農業を選択した理由

自分が子供の頃、農業について朝から晩まで休みもほとんどなく、就農

について考へることはありませんでした。就農する転機は両親が今後を見

据えて年齢的に離農を考へて本当に跡を継ぐ気持ちはないのかという打診があつたことです。当時自分は、会社員でこのまま続けていくことに生きがいが感じられなかつたことや大学時代に専攻した経済経営の知識も幾分か生きるのでないか等様々考へて両親のもとに里帰り就農しました。



青年部の活動について

たいと思つています。また、『食べたい』『おいしい』と言つてもらえるようなものを作つて必要とされる方々にだけ届けられたらと考へています。

去年から青年部に所属し活動しています。沼田町の一大イベントのあんどん祭りに参加し地域を盛り上げたり、食について学生に授業をしたり農業についてだけでなく社会に貢献活動できているので、やりがいを感じています。また、沼田町をはじめ秩父別町や妹背牛町の盟友と交流や意見交換ができたり、互いに困ったときなど助け合いが快くできる関係性が築けるなど、日々の励みになつています。

農業を行つていいくまでの想い

農業は一人だけで成り立つものではなく家族はもちろん手伝ってくれる方々、同じ農家さん、農協、普及所、広域連、各メーカーや消費者等など沢山の繋がりができる

いると思うので、今後人脈を大事にし、楽しむこ



理事会報告

第十回理事会(十一月二十六日付)

【報告事項】

管理本部

- 当面における農協行事予定について
- 固定資産の取得・処分・主要修繕費の支出について
- 組合員の加入・脱退等の申し出について
- 疑わしい取引の届け出状況について
- 余裕金の運用計画額について
- 永年勤続職員表彰対象者について
- 職員の動向について
- 定期販売事業本部
- 長期資金の貸出し状況について
- うるち米をめぐる情勢について
- 令和七年産 米施設検査見込数
- 令和七年産 製品追加・中間米量について
- 令和七年産 稲米の精算について
- 令和七年産 渡金について
- 令和七年産 農畜産物販売支払高見込みについて
- 令和七年産 米集荷奨励対策金の支払について
- 令和七年産 花卉・蔬菜の取扱

実績について
購買施設事業本部

○購買施設事業実績検討表（十月末）について

【決議事項】

- 令和七年度事業収支見込（十月末基準）及び、定時給与（年末手当）の支給について
- 令和七年度職員親交会への活動助成金の交付について
- 固定資産の取得について
- 出資金の減口について

【協議事項】

- 令和八年度営農計画書算定に係る販売単価について
- 令和八年度職員の初任給の見直しについて
- 農業倉庫の建設について
- 令和七年度年末組合員懇談会の開催に係る日程及び提出議案等について

職員動態

□中途採用職員（十一月一日付）
玉沢 友記郎

金融事業部 資経済係
米穀農産事業部 米穀農産課 融資経済課 融資係
芳賀 大介
米穀農産事業部 米穀農産課



は
芳賀
た
ま
ざ
わ
ゆ
き
お
玉沢 友記郎
(金融事業部)
(融資経済課係)



た
ま
ざ
わ
ゆ
き
お
玉沢 友記郎
(金融事業部)
(融資経済課係)

新採用職員紹介

お詫びと訂正

お広報誌No.一三七号（十一月号）十ページ「二〇二五年度秩父別年金友の会パークゴルフ大会」の記事につきまして、男性の部優勝者の名前を誤って掲載しておりました。

した。

〔誤〕

・男性の部優勝

宮本寿光さん

〔正〕

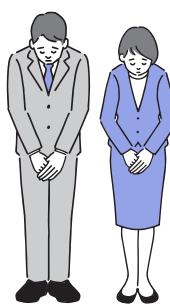
・男性の部優勝
速見章一さん

誤った情報を伝えし、関係者の方々並びに読者の皆様にはご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

J A 北いぶき

秩父別年金友の会事務局

属させていただくことになりました。
一つ一つの仕事に真剣に取り組み組合員の皆様に貢献できるよう、日々努力して参りますのでよろしくお願いします。



米穀農産事業部米穀農産課に配属させていただきました。
JA北いぶき



参加された全道女性部の皆さんで記念撮影

J A 北いぶき女性部（山本清美部長）は、十一月十二日から十三日にかけて、札幌パークホテルにて開催された第五八回 J A 北海道女性大会・北海道家の光大会に役員八名と部員一名の合計九名が参加しました。また全道各JAから約四〇〇名が参加しました。

その後は休憩をはさみ、「日本農業の今後の展望について」（北海道農業への期待）をテーマに東京大学・鈴木宣弘氏による講演が行われ、食料安全保障崩壊の本質や令和の米騒動など日本農業の今後の課題点について学びました。

二日目は午前に、「農業ガールズコレクション in 北海道」が行われ、全道各地域の特産物を使用した料理レシピが紹介されました。会場中央のランウェイでは特産物を観客へ配布するなどのPRもあり終始盛り上がりを見せました。午後からは、HBC北海道放送にて放映されている人気番組「あぐり王国北海道NEXT」の公開収録が行われ、貴重な時間を過ごすことができました。

二日間を通して、全道から集まつた女性部との交流ができ、学びや発見を多く得ることができました。

J A 北海道女性大会・北海道家の光大会

女性部本部部員研修【冬季】

十一月四日、J A 北いぶき女性部（山本清美部長）は、秩父別温泉ちっぷ・ゆう&ゆにて部員研修（冬季）を実施し、部員四六名が参加しました。

昨年度から始まった冬季の部員研修は、温泉ツアーということです。令和六年は妹背牛、令和七年は秩父別で開催いたしました。

例年通りの流れだと研修を行つてから懇親会に移っていましたが、今回の研修では誰かを講師にお招きするのではなく、テーマを決めてそれについて話をするグループワークを行うことにしたため、まずは懇親会で仲を深めてから行うことになりました。懇親会では食事をしながらビンゴ大会を行い、大変盛り上がった流れのままグループワークに移り、「今後の女性部活動について」話し合いました。白熱して話す時間が足りなかつたグループもありました。最後は各グループに発表をしていただき部員研修は終了いたしました。





女性部沼田支部 寿会一夜研修

女性部沼田支部寿会（横山和子会長）は十一月四日・五日に、沼田町ほろしん温泉にて一夜研修を開催し、会員十一名が参加しました。

一日目は、懇親会とビンゴゲームを行い、久々に顔を合わせ、会員同士の交流を深めました。

二日目は、同施設内の体育館にて開催された、まるごとげんき運動教室へ参加をして体を動かしたり、談話をしたりと、充実した時間を過ごしました。



豆腐作りの様子

女性部妹背牛支部 助け合い組織運動

令和七年十一月六日、女性部妹背牛支部（荒瀬陽子支部長）は助け合い組織運動として、一部地域の方に手作り豆腐を配布しました。

早朝より役員五名と連絡委員三名の計八名で豆腐を作り、午後からは民生委員の方にご協力いただき、約一五〇戸のお宅に配布を行いました。

玄関口で配布を待っている方も多く、いつも笑顔でのお出迎えとお手渡しする際にはあたたかいお言葉をかけていただいております。

手作り豆腐を受け取っていただき、またみんなさんは、おいしくお豆腐を召し上がつていただき、今年もあたたかくして冬を乗り越えてほしいなと思います。





米消費拡大秩父別新米キャンペーン

十一月九日、札幌市内ホクレンショッピングセンター四九条店舗にて、秩父別産「ななつぼし」を使った米消費拡大のための販売促進キャンペーンを実施、青年部・女性部・フレッシュユミズ・JAから計六名が参加し店頭販売を行いました。

当日は早朝から準備が行われ、九時に開店したと同時にキャンペーンがスタートしました。それぞれ呼びかけをしながら、来店者に対し試食米の提供などで秩父別産新米「ななつぼし」の魅力を積極的にPR。開始早々5kgを買つていくお客様が殺到しました。ご購入頂いたお客様の中には、「秩父別や近隣の市町村に住んでいた」という方がおられ、「美味しいからいつも秩父別のお米を買っている」と言つて頂きました。また、新米購入者には秩父別産トマトジュース「あかずきんちゃん」と無洗米300gのサンプルを贈呈致しました。



J.A北いぶき青年部本部視察研修

十一月十日から十一日にかけJA北いぶき青年部（下保裕樹部長）は本部事業として道内での視察研修を実施し、盟友四一名が参加しました。

初日は株式会社ISEKIKI JAPAN 北海道を訪問しました。ヰセキ職員の案内のもと現在取扱っている機械の説明や今後販売予定の機械についての説明を行つていただきました。その後、展示されている機械の見学を行いました。

二日目は、北興化学工業株式会社を視察しました。水稻用粒状除草剤について説明していただきました。粒状除草剤の実際の効き目や散布方法などを教えていただきました。また、散布桶にて実際に薬剤を撒くデモンストレーションを行つていただき、薬粒がどのように拡散されるかを見せていただきました。

多くの学びと知見を得て、充実した研修となりました。



女性部秩父別支部エルダー部員研修

女性部秩父別支部エルダー（高橋信子会長）は、十一月十二日（十四日にかけて小樽・石狩方面に十三日に部員研修を実施し、部員十三名が参加しました。

今回の研修では普段何気なく飲んでいる薬は水で飲んだりお茶で飲んだりする人もいますが、正しい飲み方はどれなのか、他にも気になつてることを解決すべく、

秩父別町役場住民課健康推進係の水島さんを講師にお薬について講話をしていただきました。ジェネリック医薬品はどこかの会社が新薬を開発し二十年の特許期間が切れた後に他の会社でも同じ成分でつくられる薬のことです、値段は安いのに効果は変わらないので、何も心配いらないと説明していただきました。その他にもクイズ形式で薬の服用のタイミングや納豆・コーヒー・牛乳と一緒に摂つてはいけない薬など楽しく学ぶことが出来ました。

お薬の講話が終了した後は秩父別温泉ゆう&ゆへ移動し、ビンゴ大会など懇親会を楽しみました。

体験終了後は札幌に移動し、一日目を終えました。

二日目は石狩市のホクレンパールライス工場にて、工場見学をしました。VTR映像で施設のコ

女性部妹背牛支部フレッシュミズ会道内視察研修

フレッシュミズ妹背牛支部（渡会真紀会長）は十一月十三日（十四日にかけて小樽・石狩方面にて会員五名で道内視察研修を実施しました。

一日目は小樽市のおたる水族館

にてイルカやカワウソなどを鑑賞しました。外のエリアは雨天のためアザラシやペンギンのショーを見ることはできませんでしたが館内のレストランで昼食をとり、水族館を後にしました。

その後は小樽市内散策後、小樽イルポンテにて、ガラス工芸体験をしました。参加者はガラスの型や色付けの仕方などを選択シートに書き、二人ずつペアを組み職人のガイドが付いて体験が行われました。窯の火で熱くなつたガラスを吹いたり、ガラスが付いた棒を転がして底を作つて成形したりを繰り返して、小鉢やタンブラーなどを完成させました。なかなかできない体験に、皆さん楽しそうな様子でした。

その後の昼食は札幌市のファームレストランベジターレにて、新鮮なお野菜や種類豊富のデザートのビュッフェを楽しんだ後、ローズカカオ＆チヨコレート作り体験をしました。この2日間、たくさんの体験・見学を通して参加者は多くの学びを得て道内視察研修は終了しました。





完成した作品

女性部秩父別支部（山本清美支部長）は本所中会議室にて十一月十四日に昨年開催しようとして開催できなかつた苔テラリウム講習会を開催しました。

苔テラリウムとはガラス容器の中に苔を植えて育てられるインテリアで、深川市フラワーサロンラリュースの方を講師にお迎えいたしました。参加者の皆さんにはまず、容器の中に滑り止めの役割として土を敷き詰め、その上に小さい石を敷き詰め流木や苔など用意していただきたすべての材料を自分の好きなように配置して完成です。どこに何を配置したらいいか迷つておられる方もおりましたが、終

始、あちこちから「かわいい」という言葉が聞こえてきています。一年待ちに待つた講習会だったのです、皆さんとても楽しそうに取り組んでおられました。

十一月二十一日、本所にてJA健康寿命百歳プロジェクト対策協議会主催の「令和七年度家庭介護教室」がWEB形式にて実施されました。



女性部秩父別支部苔テラリウム講習会

J A 北いぶき女性部家庭介護教室

秩父別三名・妹背牛四名・沼田四名の計一一名が参加し、健診センター看護科長の佐藤由佳氏と乳腺看護認定看護師の河合美紀氏よりご説明いただきました。

研修のプログラムとしては「フレイルの三要素」、「フレイル予防と対策」、「乳がんの症状・治療」「乳房セルフチェック」について学びました。

フレイルとは加齢に伴つて筋力や認知機能など心身の機能が徐々に低下して健康と要介護状態の中間ににある状態です。身体的、精神・心理的、社会的フレイルは、生活の中での運動や食事、周りの人たちとの交流によって予防と対策ができると教わりました。

また、乳がんについては、発症しやすい箇所や年齢、乳がんの症状について教わりました。早期発見することの大切さやセルフチェックの仕方も学んで、二年に一回は検診を受けるようにと推奨されました。

健康にかかる内容に、みなさんは真剣な面持ちで参加され貴重な時間を過ごしました。

女性部沼田支部フレッシュミニズ部員研修



女性部沼田支部フレッシュミニズ（藤田里奈会長）は十一月二十一日に沼田町健康福祉総合センターにて部員研修を開催し、部員七名が参加しました。

今回の部員研修では、妹背牛町にある「大黒屋菓子舗」の須見氏にお越し頂き、ケーキのデコレーション体験を行いました。回転台を使用してスポンジに生クリームを塗り、イチゴ・イチジク・柿・ブルーベリーなど様々なフルーツをカットしてトッピングをするなど、一人一人個性溢れるオリジナルのデコレーションを行いました。参加者からは「難しかつたけど、とても楽しかった」「家でお菓子を作るときの参考にしたい」などの声が上がり大変有意義な部員研修となりました。

三支所フレッシュミニズ交流会



十一月二十八日、JA北いぶき女性部フレッシュミニズの三支所フレッシュミニズ冬季交流会が開催されました。

れました。秩父別四名・妹背牛四名・沼田七名の計一五名の会員が参加され、今年は二部制として午前の部は秩父別スポーツセンターにてモルックを行いました。

モルックを初めて経験される方も多く、簡単な説明を受けてから実施されました。三支所混合の三チーム総当たり戦にて試合が組まれ、ぴったり五〇点をねらって戦略を練りながら、みなさん賑やかに交流されました。

連続でエラーが起きてなかなか得点できなかつたり、五〇点をオーバーして二五点まで戻つてしまつたり、ミラクルな投てきに歎声が起きるなどがあつて約一時間モルックを楽しみました。全試合終了後には順位発表と景品のお渡しをして、午前の部が終了しました。

夕方からは、午後の部の懇親会が居酒屋静（秩父別町）にて開催されました。会員らはお食事を楽しみながら、ゆつたりと歓談をされました。今年度は夏季・冬季の二回実施した交流会を大変有意義に過ごされました。

女性部沼田支部一日研修

J A 北いぶき女性部沼田支部（田坂智恵美支部長）は十一月二十七日まちなかほつとタウン二階多目的ホールにて、一日研修を開催し部員二十四名が参加しました。

今回は、深川地区消防組合沼田支署から岩田氏・塚田氏にお越し頂き、救急救命についての講習を行いました。前半はテキストを用いて救命処置に関する座学の講習を行い、救命処置の手順や熱中症の予防対策法・応急処置法などについて学びました。休憩をはさみ

後半は、AEDを使用した救命処置の実技講習を行い、講習用人形に胸骨圧迫をしたり、AEDを使用したりと前半の座学で学んだことを実践し、より理解を深めました。参加者からは「救命処置について学び直すことができて良かった」「今後、必要な場面があつた際には今日のことを思い出して処置したい」と話し、学んだことを振り返る様子が多く見られました。

研修終了後は、「割烹 酔心」へ移動して懇親会を行い部員同士の親睦を深め、充実した一日研修となりました。



救命処置の実技講習



感謝状を受け取る南茂係長

永年勤続職員表彰

【勤続三〇年】

佐藤
貴洋
(妹背牛支所次長)

木川田
忠義
(秩父別支所米穀農産課長)

高橋
ちはる

(管理部経理電算課経理電算
係長)

【勤続二〇年】

高野
尚人
(米穀農産事業部米穀農産課
長)

秋山
悟
(秩父別支所當農推進課長)

河嶋
学
(妹背牛支所當農推進課長)

本田
美智子
(管理部経理電算課経理電算
係長)

齊藤
慎護
(米穀農産事業部米穀農産課
係長)

南茂
好孝
(秩父別支所農機車輛課農機
車輛係長)

十一月十九日、J A 北いぶきは令和七年に勤続三〇年、勤続二〇年を迎えた職員に永年勤続表彰を行い、J A 黒田組合長より感謝状と記念品が贈呈されました。今回表彰された職員は次の通りです。

感謝状を受け取る南茂係長

Contents

●北いぶき農業協同組合 代表理事組合長 黒田 洋一	2	●新採用職員紹介	14
●北海道農業協同組合中央会 代表理事会長 樽井 功様	3	●お詫びと訂正	14
●空知農業改良普及センター 北空知支所 支所長 石村 博之様	4	●JA北海道女性大会・北海道家の光大会	15
●北いぶき農業協同組合 青年部 部 長 下保 裕樹様	5	●女性部本部部員研修【冬季】	15
●北いぶき農業協同組合 女性部 部 長 山本 清美様	6	●女性部沼田支部 寿会一夜研修	16
●第4回農事組合長会議	7	●女性部妹背牛支部 助け合い組織運動	16
●農事別組合員懇談会、女性部・女性農業者との懇談会	8	●米消費拡大秩父別新米キャンペーン	17
●女性部加入推進イベント	9	●JA北いぶき青年部本部視察研修	17
●北いぶき農事組合長会 視察研修	10	●女性部秩父別支部エルダー部員研修	18
●参与研修	11	●女性部妹背牛支部	
●北いぶき花卉蔬菜協議会 道内視察研修	11	フレッシュミズ会道内視察研修	18
●令和7年産 大豆の集荷を行いました	12	●女性部秩父別支部苔テラリウム講習会	19
●ボースカウト感謝状授与	12	●JA北いぶき女性部家庭介護教室	19
●絆 ~THE YOUTH FACE~	13	●女性部沼田支部フレッシュミズ部員研修	20
●理事会報告	14	●三支所フレッシュミズ交流会	20
●職員動態	14	●女性部沼田支部一日研修	21
		●永年勤続職員表彰	21
		●PHOTOだより	22
		●JA共済	23~25
		●年末・年始の営業時間について	26

PHOTOだより



▲秩父別地区

12月5日女性部・女性農業者との懇談会を開催しました。



▲妹背牛地区



◀沼田地区

レッカー・ロードの保障が新しくなりました！

全車種のレッカー・ロード費用が保障対象に！

～令和6年6月自動車共済レッカー・ロード費用保障条項の新設についてのご案内～

1. サービス対象外だった農業用自動車等も保障

令和6年5月までのレッカー・ロードサービスでは対象外だった農業用自動車等も保障の対象となります。

令和6年5月までの始期日契約

自家用（小型・普通・軽）乗用車
自家用（小型・軽）貨物自動車
自家用普通貨物自動車（最大積載量0.5t以下）
自家用普通貨物自動車（最大積載量0.5t超2t以下）
二輪自動車、原動機付自転車
特種用途自動車（キャンピング車）
営業用（小型・軽）貨物自動車
営業用普通貨物自動車（最大積載量2t以下）
小型ダンプカー
普通型ダンプカー（最大積載量2t以下）

令和6年6月以降の始期日契約

全車種

農耕作業用小型特殊自動車
自家用普通貨物自動車（最大積載量2t超）
なども保障対象となります

2. 被共済者が自分で手配した負担も保障可能

被共済者自ら業者を手配し負担されたレッカー費用・ロード費用も保障できるようになります。（1回の事故につき15万円が限度です。）

JA共済サポートセンターへの事前連絡でさらに安心！

レッカー
サービス

限度額15万円を超えて運搬距離が無制限に！*

燃料給油
サービス

ガソリン等を最大10㍑までお届け（1年に1回）

*レッカー費用に関して、利用者が事前にJA共済サポートセンターに連絡し、JA共済サポートセンターが手配する業者が運搬する場合であり、利用者が指定する修理工場等まで運搬することが合理的であるとJA共済サポートセンターが判断し、予め承認したときに15万円の限度額を適用しません。

レッカー移動や故障時の
応急対応が必要な場合には

JA共済サポートセンター 24時間365日受付
0120-063-931

自動車事故等の
場合には

JA共済事故受付センター 24時間365日受付
0120-258-931

3. レッカー・ロード・陸送・宿泊・帰宅費用を保障

ご契約のお車が事故、故障、車両トラブルで走行不能または、盗難された際、下記の費用を保障します。

レッカー費用



走行不能となり
修理工場までの
運搬にかかった費用

ロード費用



走行不能となり
その場での応急対応に
かかった費用

レッカー・ロード費用共済金

1回の事故について
レッカー費用・ロード費用を合算して
15万円まで保障

【留意事項等】

- 宿泊費用には飲食等に要した費用は含まれません。
- 酒気帯び運転の間に走行不能になったことにより生じた損害は保障の対象とはなりません。
- ご契約のお車のカギの紛失により生じた損害は保障の対象とはなりません。
- ご契約のお車の燃料切れにより生じた損害（電気自動車である場合の電池切れを除く）は保障の対象とはなりません。
- 陸送等費用、宿泊費用、帰宅等費用は、ご契約のお車が走行不能となり、修理工場等まで運搬された場合に限り、共済金をお支払いします。

宿泊費用



走行不能となり緊急に宿泊した
場合の宿泊費用

宿泊費用共済金

1回の事故について
被共済者1名につき
1万円まで保障

帰宅等費用



走行不能となり公共の交通手段で
帰宅した場合の交通費

帰宅等費用共済金

1回の事故について
被共済者1名につき
1万円まで保障

陸送等費用



修理後、車の引き取りにかかった陸送費
または交通費

陸送等費用共済金

1回の事故について
被共済者1名につき
15万円まで保障
*交通費は往路1名分を保障

●お問い合わせは・・・

J A 北いぶき

本 所 共 済 課 0164-33-2011

妹背牛支所 貯金共済課 0164-32-2451

沼田支所 貯金共済課 0164-35-2221

※この条項は自動付帯とし、記名被共済者が法人の契約および特別割増・割引契約（資格審査契約を含みます。）に限り、任意付帯となります。

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際は、「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

[25019990053]

2025年7月

農林水産用



ドローン総合保険

万が一のドローン機体の損害や
第三者への法律上の賠償責任に備え、

「農林水産用ドローン総合保険」をおススメします！
是非、ご加入をご検討ください！

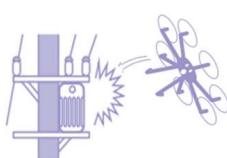
ドローンの活用にはこんなリスクが！



動画はコチラ

機体事故 事故例

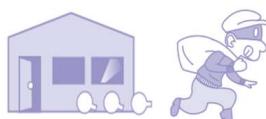
操作誤りにより
架線と接触し、
機体が破損した。



フライト中、機体に雷を
受けて操縦不能になり
落下し破損した。



倉庫に保管して
いたドローンが
盗難にあった。



フライト中に機体が
行方不明になり
捜索のため、交通費や
宿泊費がかかった。



賠償事故 事故例

操作誤りにより
機体が民家に衝突し、
屋根を壊した。



着陸時に目測を誤り
歩行者に接触し、
ケガをさせた。



農薬がドリフトにより、
農作物に損害を与えた。



操作誤りにより
鉄道の線路に落下し、
鉄道に遅延損害を
与えた。



補償内容、保険料目安は裏面をご覧ください。

5つのポイント

ポイント1. 事故がなければ翌年の保険料が割安に！(機体補償)

この保険契約の保険料は、事故の有無により変動する等級制度を採用しています。
事故がなければ、翌年継続時の更改保険料がお安くなります。

※-7 等級～-10 等級の更改保険料は同一となります。

ポイント2. 新価(再調達価額)で保険金をお支払い！(機体補償)

この保険契約の保険金額は、保険の対象となるドローンの機体の新価で設定しますので、万が一の事故の際は、新価をもとに保険金をお支払いします（支払限度額を設定した場合は、その限度額が上限となります）。
新価での保険金のお支払いなので、-10 等級から 0 等級の契約で、初回事故の場合修理代や貢換費用の持ち出しがありません。
※新価（再調達価額）とは保険の対象であるドローンと同一の質、用途、規模、型、能力のものを再取得するのに要する額をいいます。

ポイント3. 3機以上の契約をまとめて保険料を5%引き！(機体補償)

1 保険証券で3機以上のドローンを契約する場合に「多数契約割引」を適用し、保険料を5% 割り引きます。

ポイント4. 農薬の飛散等のドリフトリスクも対象に！(賠償責任補償)

農薬や肥料の散布、種子の散播について、風に流され、隣接する隣家の農作物に被害を与えた場合などのドリフトリスクも補償の対象にしています。

ポイント5. 様々な特約を自動付帯！(賠償責任補償)

他人に迷惑をかけた場合に負担する法律上の賠償責任について、様々なケースに対応できる各種特約をセットしたプランをご用意。

保険料目安

<試算条件>

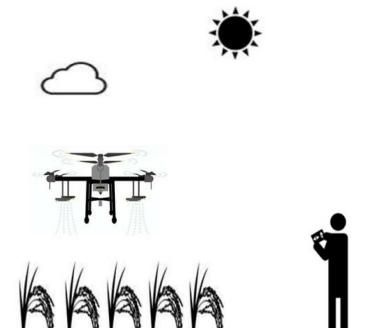
- 新規契約
- 機体補償：新価（再調達価額） 代位求償権不行使特約・臨時費用補償特約付帯なし 多数契約割引適用なし
- 賠償補償：支払い限度額 対人・対物共通 1名/1事故/期間中 1億円 （プランA：10,720円）

機体金額（※1）	機体補償（※2）	賠償補償	初年度契約保険料
100万円	●	●	69,720 円
		×	59,000 円
150万円	●	●	99,220 円
		×	88,500 円
200万円	●	●	128,720 円
		×	118,000 円
250万円	●	●	158,220 円
		×	147,500 円
300万円	●	●	187,720 円
		×	177,000 円

●：補償あり ・ ×：補償なし

(※1) 機体金額に含まれる主な付属品：機体本体、プロポ、バッテリー、散布装置 等

(※2) 機体補償保険料計算式（新規0等級の場合）：機体金額（円）/1,000円×59円



ご契約時必要書類

- 機体購入時の「納品書」等、機体の購入年月日（中古機体の場合は製造年月日）が把握できる書類
- 「農林水産用ドローン総合保険契約に際しての報告書」

◆補償内容は「農林水産用ドローン総合保険」パンフレット(PE112000)とあわせてご覧ください。ご不明点につきましては、取扱代理店または共栄火災営業店にお問い合わせください。

◆このチラシにおける「農林水産用ドローン総合保険」は動産総合保険と施設賠償責任保険(ドローン【農林水産用】特約付帯)のセット商品です。

共栄火災海上保険株式会社（引受保険会社）
北海道支店 岩見沢支社
住所 岩見沢市5条東5-2（佐川ビル内）
電話 0126-23-3049

お問い合わせ先（取扱代理店）
北いぶき農業協同組合
本所 共済事業部 0164-33-2011
妹背牛支所 貯金共済課 0164-32-2451
沼田支所 貯金共済課 0164-35-2221

● 年末・年始の営業時間について ●

部 門 月 日	給 油 所 (セルフスタンド)		貯金共済店舗	A T M		生産資材店舗 農機車両店舗	事務所 (融資経済課 窓口含む) 営農販売事務所 (秩父別)					
	秩父別	妹背牛・沼田		秩父別	妹背牛・沼田							
12/29(月)	7:30～ 19:00	8:00～ 18:00	9:00～ 11:30 12:30～ 15:00	9:00～ 18:00	9:00～ 18:00	9:00～ 16:30 (仕事納め)	8:45～ 17:00 (仕事納め)					
12/30(火)	7:30～ 19:00	8:00～ 18:00	9:00～ 11:30 12:30～ 15:00 (仕事納め)	9:00～ 18:00	9:00～ 18:00							
12/31(水)	7:30～ 15:00	8:00～ 15:00	休 業	休 業	休 業	休 業	休 業					
1/1(木・祝)	休 業	休 業										
1/2(金)												
1/3(土)												
1/4(日)	7:30～ 19:00			9:00～ 17:00								
1/5(月)	7:30～ 19:00	8:00～ 18:00	9:00～ 11:30 12:30～ 15:00	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00							
1/6(火)	7:30～ 15:00	8:00～ 15:00	9:00～ 11:30 12:30～ 15:00	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00	9:00～ 15:00	8:45～ 15:00					

株まちづくりぬまた 物産サービスセンター	12月26日 12月27日～1月4日 1月5日以降	8:30～17:30 休 業 8:30～17:30 (土 8:30～17:00) 曜・祝日休業
ダ・マルシェ 沼田店	12月31日 1月1日・2日 1月3日以降	9:00～ 17:00 休 業 9:00～19:00
株ホクレン商事 (エーコープ秩父店)	12月28日～31日 1月1日～4日 1月5日以降	9:00 ～18:00 休 業 10:00～18:00